



# 総合学術調査報告書発刊に寄せて

佐那河内村長 楠 崇 宏

この度、阿波学会による佐那河内村総合学術調査の成果がまとまり、その報告書が発刊される運びとなりましたことを、心からお慶び申し上げます。

平成13年7月25日、佐那河内村役場において、関係者多数のご参加のもとに結団式が挙行され、22班という多くの調査団により広範な分野にわたり、専門的な学術調査をしていただきました。

調査団の皆様は、公私共に非常に忙しいにもかかわらず、暑さ厳しい中、昼夜を問わず村内くまなく踏査され、たくさんの村民の皆様に関き取り調査をされるなど、大変なご苦勞があった事と拝察いたします。

調査期間中、村としての受け入れ態勢や準備、資料提供など十分なお世話ができずご迷惑をおかけしましたが、調査団の皆様の熱意と村民各位のご協力により調査を終えることができました。

阿波学会、県立図書館の関係者並びに村民各位のご努力とご協力に対し、衷心より敬意を表し感謝申し上げます。

本村ではこれまで農業の振興、道路網の整備、生活環境施設の整備、教育の充実等を積極的に推進してまいりましたが、先人が築いてきた文化の伝承、調査という点では、十分ではなかったところもあります。

こうした中、今回の総合学術調査は、本村の地質、植物、建築、文化等あらゆる分野で調査され、『佐那河内村史』と併せて本村の全容を知る事ができる貴重な資料となり、これからの村づくりに大いに活用できるものと期待するところであります。

また、総合学術調査を通じて村民の中に、自然保護意識や文化の伝承意識がこれまで以上に高まったのではないかと感謝しているところであります。

終わりになりましたが、総合学術調査団の皆様方のご努力とご苦勞に対し深く感謝いたしますと共に、この調査にご協力、ご支援いただきました村民の皆様方に心からお礼申し上げます。併せて、阿波学会の今後ますますのご発展と、会員各位の一層のご活躍をご祈念申し上げ、発刊のお祝いとお礼の言葉といたします。